

臨床学術部

バキウム実習を開催

臨床学術部は8月31日、助手を対象にしたバキウムテクニック講習会をとももと歯科医院(港区)で開催し、15人が参加した。

富本昌之副理事長は開会あい



患者役を務める富本氏(8月31日、とももと歯科(大阪市))

「苦手部位克服できそう」

さつし、「歯科医療の一員である助手さんは、患者さんが安心して治療を受けられるよう明るい環境を作ってほしい。さつて、週明けからの診療に活かせるよう、積極的に質問や相談して有意義な時間としてほしい」と語った。

バキウムの基本操作や歯科の専門的な名称を映像で学んだ後、4つの班に分かれ医師・アシスタント・患者のそれぞれを体験する相互実習を行った。

研修では、患者の誘導やエプロンのかけ方をはじめ、バキウムの当て方・姿勢、禁忌部位の確認、各部位のバキウム位置を学んだ。「苦手な部位が克服できたような気がする。口腔内の景色が違つように見えた」「楽しい雰囲気の中で、疑問を解消できた」などの感想が寄せられた。

協会の江原豊政策部長は5日、政治家による国際芸術祭への介入と表現の自由の侵害に抗議する次の談話を発表した。

物言えぬ息苦しい社会を是とするのか。愛知県で開かれた国際芸術祭の企画展「表現の不自由展・その後」の中止をめぐる、日本の民主主義が脅かされている。表現の自由を抑圧する政治家の言動に厳しく抗議する。

同企画展では慰安婦の少女像の展示に対し脅迫やテロ予告が相次ぎ、開幕3日で中止に追い込まれた。異論を認めぬ偏狭なナショナリズムや暴力的行為は許されるものではない。問題はそれだけに過ぎず、自治体の首長や政府高官が展示の

政治家による国際芸術祭への介入と表現の自由の侵害に抗議する

中止を求めて介入した。表現の自由を侵害する重大な問題だ。

河村たかし名古屋市長が「日本人の心を踏みにじる」と中止を求め市民の発言とは次元が異なる

ば、營養偉官房長官と柴山昌彦文部科学相は芸術祭への補助金を見直しを切「中止せよ」などと示唆。松井一郎大阪市長は「公金を投入しながら我々の先祖があまりにもけたものに取り扱われ



「検査」「処置」などを解説

社保研究部 第2回社保習会開く

社保研究部は8月24日、第2回目の社保講習会(全3回)を開催し(写真)、65人が参加した。「検査・画像診断・投薬・麻酔」「処置」「歯周疾患」について、社保研究部員が算定ルールを解説した。

「処置」では感根処について、前回の感根処に係る歯冠修復が完了した日から6カ月を経過した日以降は感根処が算定できることを解説したほか、2018年改定で変更となった箇所やカルテ・レポート記載上の注意点、算定誤りの多い事例について紹介した。

今回は9月21日に手術、歯冠修復、有床義歯をテーマに開催を予定している。

危険をはらんでいる。戦前戦中の日本は治安維持法で反戦平和の活動を徹底的に弾圧した。近年では安倍政権が秘密保護法や共謀罪の成立を強行した。「知る権利」に制限をかけ、思想・信条を監視し、取り締まる姿は暗

動することさえ困難になるだろう。

民主主義は一人ひとりの意見を尊重し、議論を重ねることによって成り立つ。フランスの哲学者・ヴォルテールは「私はあなたの意見には反対だ。だがあなたがそれを主張する権利は命をかけて守る」と説いた。それほど表現の自由は重要なものである。

黒の時代を想起させる。行政の意に沿わない言論は封殺する――。何とおぞましい光景だろう。こんなことがまかり通れば、社会保障の充実や歯科医療の改善を求めて活

梅村議員(維新)と懇談

歯科署名、妊産婦助成など要望



出席した。

小澤理事長は、医科協会と共同で実施した「学校健診後調査」を示し、子どもの未受診と健康格差の問題を訴えた。

梅村議員は、「子どもは社会で育てる視点が必要だ」とし、子ども医療費助成の拡大に前向きな姿勢を見せた。

妊産婦への医療費助成制度の創設について、「受診できる状況が理想」とし、国制度の設計を必要とする見解を示した。

歯科署名については、「歯科医療の重要性は認識している」と請願内容に賛同した。

協会は8月28日、先の参議院選挙で初当選した梅村みずほ議員(日本維新の会)と懇談し、子ども医療費助成の拡充や妊産婦への医療費助成の創設、「保険でより良い歯科」署名の紹介議員受諾などを要請した(写真)。懇談には小澤力理

事長、辻本勝副理事長が

大阪府保険医協同組合より共同購入をご利用の先生方へ【消費税率変更についての重要なお知らせ】

2019年9月
大阪府保険医協同組合
M&D保険医ネットワーク

平素は大阪府保険医協同組合の共同購入をご利用頂き誠にありがとうございます。さて、2019年10月1日より消費税増税が予定されております。大阪府保険医協同組合、M&D保険医ネットワーク共々、消費税増税には反対の立場ではありますが、増税された場合の重要なお知らせがありますのでご覧ください。

- ①消費税8%の適用は、9月27日(金)の午後1時までにご注文頂いた商品で在庫のあるものに限りさせていただきます。
(午後1時までのご注文でも当組合における欠品、お取り寄せで10月1日以降の納品となった場合は消費税10%になりますのでご注意ください)
- ②9月27日(金)午後1時以降と28日(土)・29日(日)・30日(月)のご注文は10月1日(火)以降の納品となるため消費税は10%になります。(※軽減税率対象商品は除きます)
- ※9月に入りまして駆け込みでのご注文が増加し、欠品が多く出る事が予想されますので余裕をもってのご注文をお願いいたします

お問い合わせは☎06-6568-2741 大阪府保険医協同組合まで



スウェーデン・マルメ大学歯学部病院にて、培養が終わった唾液検査キット

予防プログラムの実際

唾液検査の実施

リスク評価についても各歯科医院の裁量に任されていて、検査項目や検査キットに規定はない。唾液中のミュータンスレンサ球菌やラクトバチルス菌、唾液の量や緩衝能を測定する唾液検査についても、大学病院以外の歯科医院ではスウェーデンでも実施率が低いので(図)、日本の歯科医院でも唾液検査は必要ないと解釈する日本人歯科医師もいるようだ。しかし、注意を要するのは、スウェーデン人



NPO法人
「最先端のむし歯・歯周病
予防を要求する会」理事長
西 真紀子

齲蝕経験はリスク因子ではない

と日本人とは歯科予防に関する知識も口腔内の状況も違うということである。ほぼ全員が乳幼児から定期的にメインテナンスに通い、その度に齲蝕と歯周病の予防方法を個別指導してもらっているスウェーデン人と、生涯、唾液中に細菌がいることさえ教えられておらず、修復物だけが增えて二次齲蝕や破折のリスクが高い日本人の違いである。日本人がスウェーデン人レベルの知識に二週間で追いつくには、唾液検査やカリオグラムを用いることは有効だろう。

さらに、ほとんどのスウェーデンの歯科医院で過去の齲蝕経験のみでリスク評価をしていることは、批判の対象になっている「1」。過去の齲蝕経験は疾患の結果であって、将来のリスクを表すわけではない。故ダグラス・ブラッター先生は、このことを喫煙が原因で肺がんになり片肺を切除した患者に例えて説明した。片肺でも禁煙していれば、その人のがんのリスクは低いが、片肺でも喫煙を続け入れてばリスクは高いままである。同じ片肺という状態でもリスクは大きく異なる。両者を同じにする過ちを、過去の齲蝕経験でリスク評価する歯科医師は行いがちなのである。

参考文献
1. Hansel Petersson G, Twetman S. Caries risk assessment in young adults: a 3 year validation of the Carigram model. BMC Oral Health. 2015;15:17.